

鴨川小学校だより

令和5年4月25日第4号（保護者の皆様へ）

あいさつをすると、こんないいことがある

「おはようございます。」校門前で、バスから降りてくる子どもたちを朝のあいさつで迎えます。あいさつは、人と人がつながる第一歩。大切にしたいことです。

あいさつをすることの意義やよさについては、いろいろな人がいろいろな説明をしています。いくつか紹介します。

1 感謝を伝えられる

あいさつを通して、相手に感謝を伝えられます。「感謝」の気持ちを込めて、あいさつをすれば、相手にもきっと伝わるはず。心のこもったあいさつは喜ばれるでしょう。相手に感謝すればするだけ、自分にも返ってきます。感謝で溢れた素敵な毎日を過ごせるようになるでしょう。

2 存在を認めているということを示せる

「心を開く」ということは、「存在を認めている」ということ。あいさつは、相手がいるのがわかったから「声をかけよう」と思っただけのものですよね。逆に、あいさつしないということは「存在していないかのように扱っている」と示すことにもなりかねません。あいさつは承認欲求を満たす役割ももっているのです。

3 仲良くなるきっかけになる

あいさつは、仲良くなるための最初の一步。何回もあいさつすることで、相手もあなたに心を開きやすくなるでしょう。知っている人がいない場所に行って、あいさつが話すきっかけになったことはありませんか？それはお互いが「この人は私に心を開いてくれたのかも」と思えたのでしょう。仲良くなりたい人に会った時、初対面の人が多い時こそ、積極的にあいさつするのをおすすめします。あいさつをきっかけに、一生大切にしたい人に出会えるかも。

4 緊張をほぐせる

あいさつには緊張をほぐす力もあります。緊張していてもあいさつをされるとほっとしますし、自分も声を出すことで緊張が解かれるのです。



■楽しかった全校遠足

途中、電車にも乗って、へそ公園へ遠足に行ってきました。高学年がリードしながら、1年生や新しく来られた先生に関するクイズ大会をしました。その後は、全校生で「だるまさんがころんだ」や「ふえおに」などをして、思いっきり遊びました。お弁当もおいしくいただき、みんなでとても楽しい時間を過ごすことができました。

（校長 福井 明）